

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 21年 5月
(第19 ~ 22週)

発行年月日 :平成21年(2009年) 6月16日
発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ¹⁾		感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ¹⁾	
		1～4月		5月		1～12月				1～4月		5月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	6	0	9	0	132
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ベスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	1	0	0	0	4
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	2	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	102	8,346	17	2,118	282	28,419	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	2	
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^(*)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	22	0	1	1	56	
三類	コレラ	0	2	0	0	0	45	野兔病	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	61	0	15	23	320	ライム病	0	0	0	0	0	5	
	腸管出血性大腸菌感染症	3	310	0	194	53	4,322	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	12	0	1	0	57	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
	バラチフス	0	6	0	2	0	27	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	1	15	0	4	0	43	レジオネラ症	1	199	2	37	10	893	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	2	0	0	0	42	
	A型肝炎	0	30	0	19	3	170	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	9	0	0	0	22	アメーバ赤痢	4	286	3	54	10	872	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	73	0	15	5	241	
	オウム病	0	2	0	3	0	9	急性脳炎	0	84	0	13	1	190	
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	2	0	0	0	10	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	37	1	12	2	152	
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	1	43	0	12	1	113	
	Q熱	0	1	0	0	0	3	後天性免疫不全症候群	2	486	1	109	11	1,568	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	28	0	6	1	76	
	コクシジオイデス症	0	1	0	0	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	0	7	0	1	0	10	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	238	0	50	5	839	
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	1	21	0	15	5	123	
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	33	0	4	0	80	
	つつが虫病	0	44	0	33	0	442	風しん	2	67	0	14	2	309	
	デング熱	0	22	0	7	2	104	麻しん	0	301	1	77	39	11,015	
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0								
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*) :平成20年5月12日から集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (5月)

<結核>

性別:男性 10名、女性 7名
 類型:患者 12名
 無症状病原体保有者 5名
 病型:肺結核 8名
 その他の結核 9名

<レジオネラ症> 男性 60歳、男性 76歳
 推定感染経路は塵埃感染 1名、水系感染 1名で、推定感染地域は日本国内です。

<アメーバ赤痢>

男性 32歳、男性 69歳、男性 78歳
 推定感染経路は性的接触、経口感染、不明それぞれ 1名づつで、推定感染地域は日本国内です。

<クロイツフェルト・ヤコブ病>

男性 73歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<後天性免疫不全症候群>

男性 57歳
 無症候性キャリアで、推定感染経路は同性間性的接触、推定感染地域は日本国内です。

<麻しん> 男性 30歳

推定感染経路、ワクチン接種歴ともに不明です。

*1感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター) *2検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

5月の概要

<インフルエンザ>

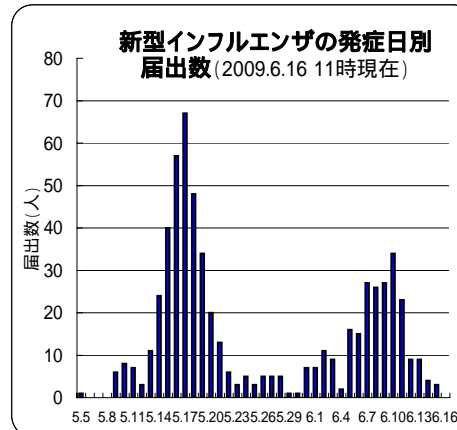
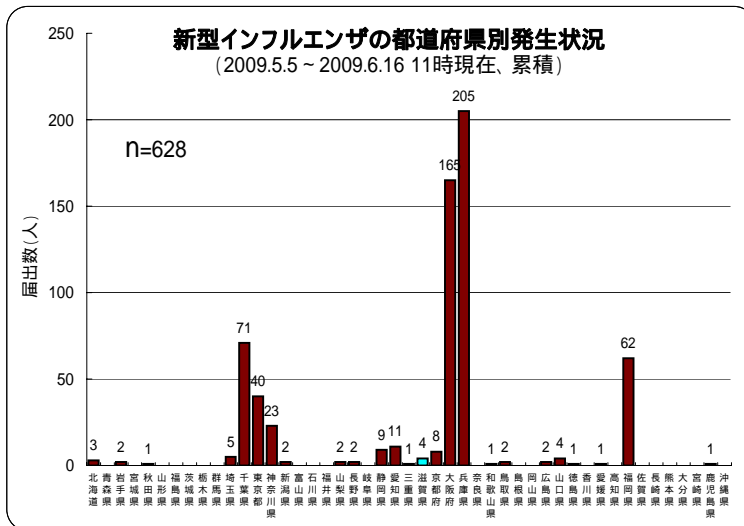
インフルエンザの報告数は先月の約1/3に減少していましたが、昨年同時期の約2.6倍となっていました。特に、第21週(5/18~5/24)の定点当たり患者数は1.94と増加していました。この時期には、滋賀県における新型インフルエンザの発生に伴う発熱外来受診者の増加がみられました。新型インフルエンザの発生状況は下記グラフに示すとおりです。

<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患はRSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)、手足口病およびヘルパンギーナです(他の疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。感染性胃腸炎については、先月に引き続き東近江保健所管内において第19~22週(5/4~5/31)の間、定点当たり患者数は警報終息基準値(12.00)を越えていました。また、手足口病およびヘルパンギーナについては微増傾向を示しており、今後の発生状況に注意が必要です。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少していますが、彦根以外の保健所管内から報告されています。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎は東近江から、無菌性髄膜炎は長浜からの報告がありました。マイコプラズマ肺炎の報告は長浜でやや多くなっていました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。



5.14~5.24は大阪府および兵庫県で、6.1~6.14は千葉県、東京都および福岡県で多くなっていました。

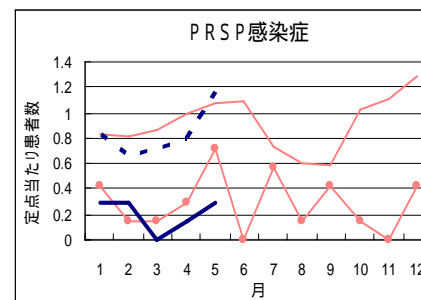
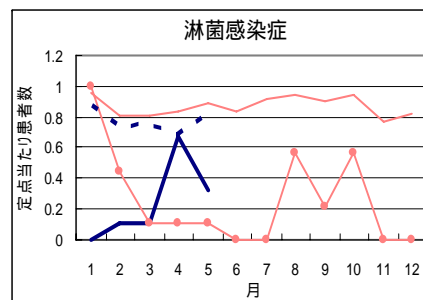
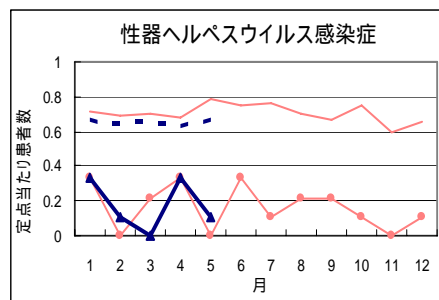
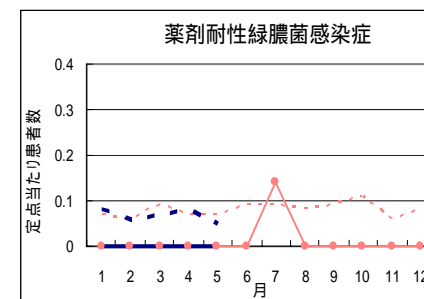
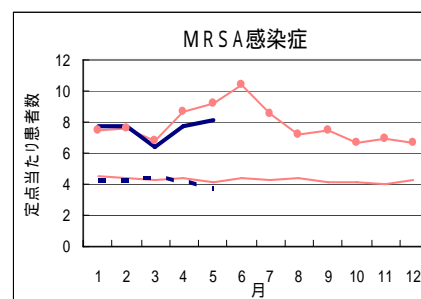
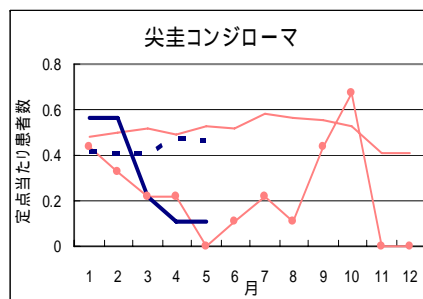
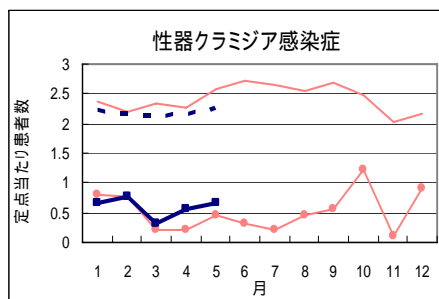
<各定点の対象疾患>

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成21年5月)

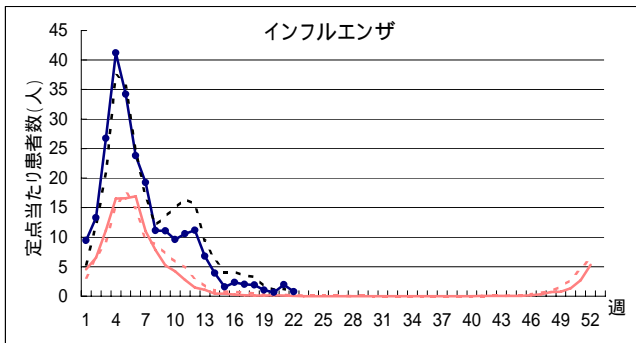
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3	5	6								27
	定点当たり	0.67	0.78	0.33	0.56	0.67								3.01
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	3	1								8
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.33	0.11								0.88
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2	1	1								14
	定点当たり	0.56	0.56	0.22	0.11	0.11								1.56
淋菌感染症	罹患数	0	1	1	6	3								11
	定点当たり	0	0.11	0.11	0.67	0.33								1.22
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45	54	57								264
	定点当たり	7.71	7.71	6.43	7.71	8.14								37.70
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0	1	2								7
	定点当たり	0.29	0.29	0	0.14	0.29								1.01
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0								0
	定点当たり	0	0	0	0	0								0



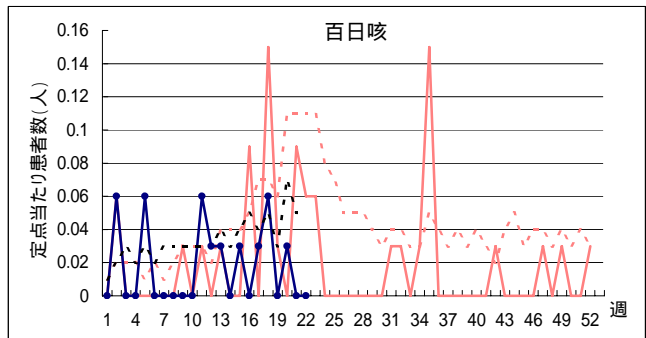
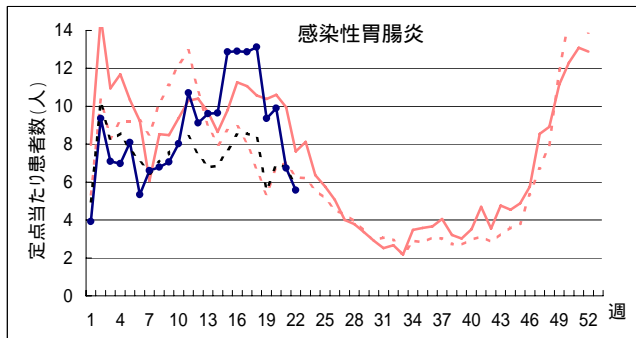
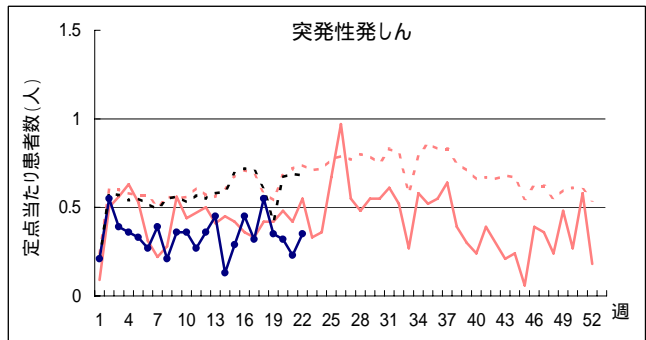
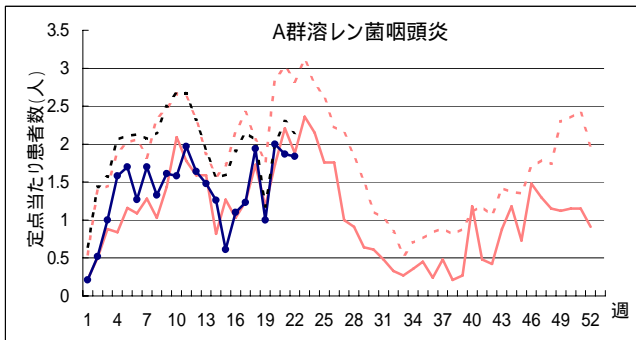
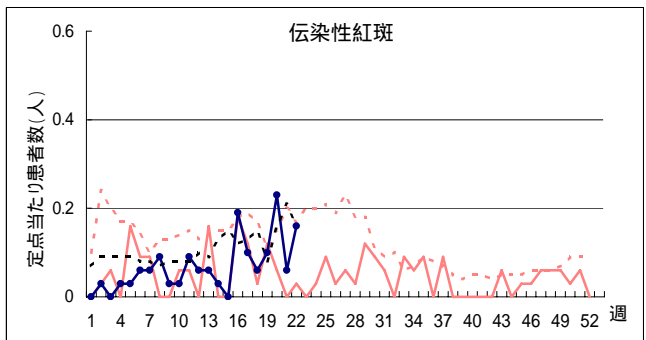
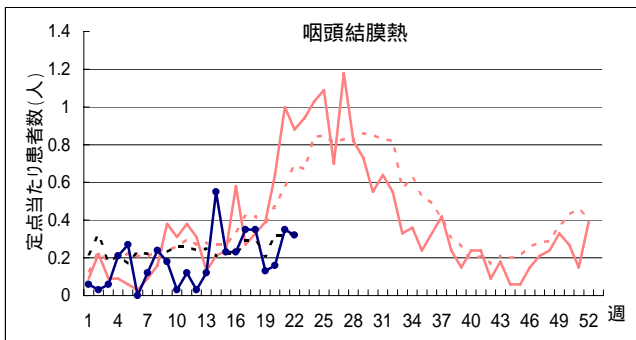
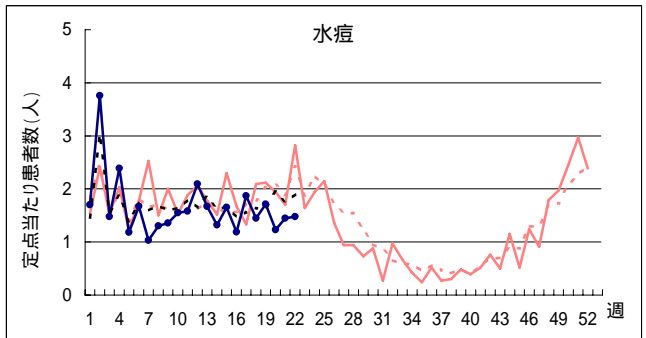
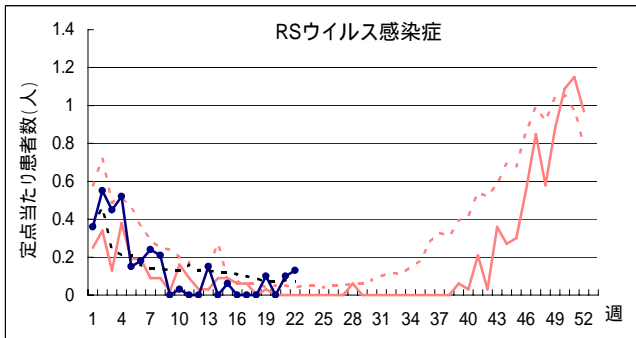
H20 〔 滋賀 ●●●●●
 全国 ○○○○○
 H21 〔 滋賀 ●●●●●
 全国 ○○○○○
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、MRSA感染症およびPRSP感染症は増加し、性器ヘルペスウイルス感染症および淋菌感染症は減少しています。尖圭コンジローマは横ばいです。また、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。

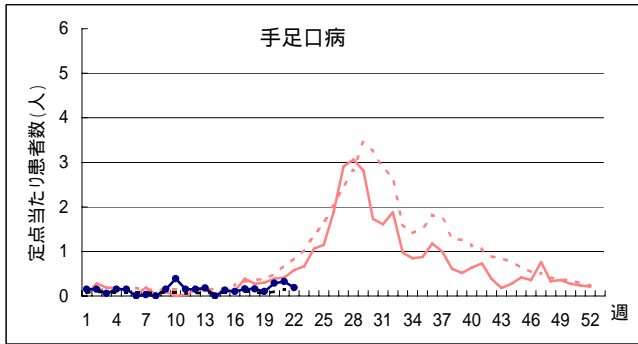
疾病別定点当たり患者数(平成21年第 22 週、H19.12.29 ~ H21.5.31)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第 22 週、H19.12.29 ~ H21.5.31)



H20 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21 〔 滋賀 ●●●●●
 全国 ······

